

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和4年4月25日（月曜） 9時30分～10時30分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書担当会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与・山本特別参与 (職員等)： 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長）
論 点	・令和4年度広報eラーニング研修について
主 な 意 見	・この研修を受講する対象者は、管理職であり、判断する立場の方なので、それらの方への説得力が求められる。 ・テクニカルな部分よりも、一つの例で様々なパターンを見せ、どういった効果が生じるかを視覚的に感じてもらう必要がある。 ・情報を省くリスクを負うよりも全てを掲載する方を選択してしまうことが多くなってしまうため、情報を絞ることの価値に共感をしてもらう必要がある。 ・チラシやサイネージは「きっかけ」に変容してきており、ホームページで詳細をお伝えする形となってきている中、広報するターゲットに応じて、どの媒体でどこまで伝え、どういった行動を取ってもらうかの流れを考える必要がある。 ・事業の担当者は、事業と広報を別で捉えている方もいる。広報も事業の一つである認識を持ってもらう必要がある。 ・研修の冒頭で、管理職の役割を伝え、どういった着眼点で判断をすべきかを伝えてはどうか。 ・例えば、「つくる前に考える」、「つくった後に伝わる内容かをチェックする」と言った2部構成など試みてはどうか。そうすることで、管理職として何を判断するべきかが明快となる。 ・また、eラーニング研修の場合、研修後にテストのようなものがあるといいのではないか。 ・テストがあることで、重要ポイントのおさらいにもなる。また受講する側の意識も変わるので検討してみてはどうか。
結 論	・本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説 明 等 資 料	
備 考	
関 係 所 属 (部 課)	政策企画室市民情報部広報担当